

# 月1!!Global☆

—自由な発想を from YJK—

	代表者	山本祐司（工学B 3年）	
構成員	弘中眞子（経済B 2年）	児玉聖治（工学B 2年）	江川理菜（経済B 2年）
	中川幸亮（経済B 2年）	板谷朋幸（工学B 2年）	
	村口和史（工学B 3年）	喜納一貴（工学B 3年）	
	河村道雄（工学B 3年）	村井一貴（工学B 3年）	
	秋田真央（工学B 2年）	水島早紀（人文B 2年）	
	鈴木恵里（人文B 2年）	持溝桂介（工学B 3年）	

## 1. 目的と特徴

当プロジェクトは、国際交流サークルYJK（Y山口でJ自由なK国際交流）の参加者、交流活動に興味のある人たちが運営される。プロジェクト参加者で1か月ごとにテーマを決め、そのテーマにそった交流イベントを企画する。当プロジェクトの特徴はイベントごとに企画者・参加者両方が流動的に変わるスタイルを基本とし、テーマもイベントもメンバーで自由に自発的に自然発生的に決めていくところにある。当プロジェクトのルールに従い、テーマにそった専門家を招く講演会をしたり、地域の方と一緒に交流するイベントを行ったりするなど自由に決めていく。

## 2. イベント

4月	茶話会		15人が参加
5月	新メンバー交流会	テーマは国際交流	37人が参加
6月	料理交流会	テーマは異文化	39人が参加
7月	BBQ	テーマは協力	43人が参加
8月	キャンプ	テーマは自然	22人が参加
8月	asia college 2013	テーマは日韓	41人が参加
9月	企画会&懇親会	テーマは後期	32人が参加
10月	鍋パーティー	テーマは日本の秋	54人が参加
11月	スポーツ大会	テーマは運動	37人が参加
12月	クリスマスパーティー	テーマは聖夜	56人が参加
1月	おせち作りパーティー	テーマは正月	38人が参加
2月	門司港観光	テーマは観光	36人が参加
3月	来期企画会	テーマは来期	29人が参加

## 3. 活動内容

各月イベントに関してはイベント終了後に翌月のイベントの小規模企画チームをつくり、そのチームを中心としてイベントの準備、参加者募集をした。チラシ作り、チラシ配り、会場予約、講演者依頼、地域の人と交流、必要物品確保、ホームページやFacebookを使った勧誘などなど各月によって準備は異なった。メンバーたちが必要だと思ったことを最大限盛り込み自由にイベントを企画した。5月からホームページ作成チームをつくり、毎週水曜日にホームページ作成をしている。デザイン担当、編集担当、分析担当の3つに分かれて活動し、当プロジェクトを裏から支えている。当プロジェクトのイベントは実践型の交流活動を中心として活動してきた。世界各国の料理を一緒につくったり、自分たちで火を起しBBQやカレーづくりをしたり、寝食をともにすることでより親密な関係になった。留学生、他大学生、地域の方々などさまざまな参加者が集う国際交流の場所となっており、イベント以外でもここで出会った人同士の交流が続いている。たとえばFacebook、LINEなどで連絡をとりあったり、ご飯やおでかけ行ったりなどプライベートレベルの交流も続いている。



5月新メンバー交流会，ディスカッション



5月新メンバー交流会，講演会



6月料理交流会，チヂミづくり



6月料理交流会，立食パーティー



7月BBQ，焼き場担当



7月BBQ，仲良く夕食



8月キャンプ，カレー



8月キャンプ，キャンドルサービス



8月 asia college 2013, 異文化交流



8月 asia college 2013, 宮島にて



ホームページ作成チーム



イベント企画風景



9月企画会&懇親会, 企画風景



9月企画会&懇親会, 新幹部メンバー紹介



10月鍋パーティー, 鍋を食べる



10月鍋パーティー, 集合写真



11月スポーツ大会，バレーボール



11月スポーツ大会，ドッジボール



12月クリスマスパーティー，集合写真



12月クリスマスパーティー，風船割りゲーム



1月おせち作りパーティー，調理風景その1



1月おせち作りパーティー，調理風景その2



2月門司港観光，3時のおやつ



2月門司港観光，バナナマンの前で



3 月来期企画会，アイデア出し



3 月来期企画会，打ち合わせ

#### 4. 前期総括と後期からの展望

4 月にサークルを立ち上げてから半年が経つが，メンバーたち，教授や大学関係者，地域の方々など多くの人たちの協力のおかげで国際交流サークル YJK の大学生メンバーはまもなく 100 人を超える。留学生，他大学生，地域の方々など多くの人たちが集まってくれて交流の質が高まったと同時に，予想以上に規模拡大したためにイベント企画，運営が複雑になってきた。という問題も浮かび上がってきた。

7, 8 月と時が経つにつれて徐々にイベントの中心企画メンバーがある程度経験のある人同士に限定される状況が発生してしまい，企画者・参加者両方が流動的に変わるスタイルが薄くなってきた印象を受けた。そこで後期からは YJK の大規模な組織化し，自由に流動的な団体を目指す。

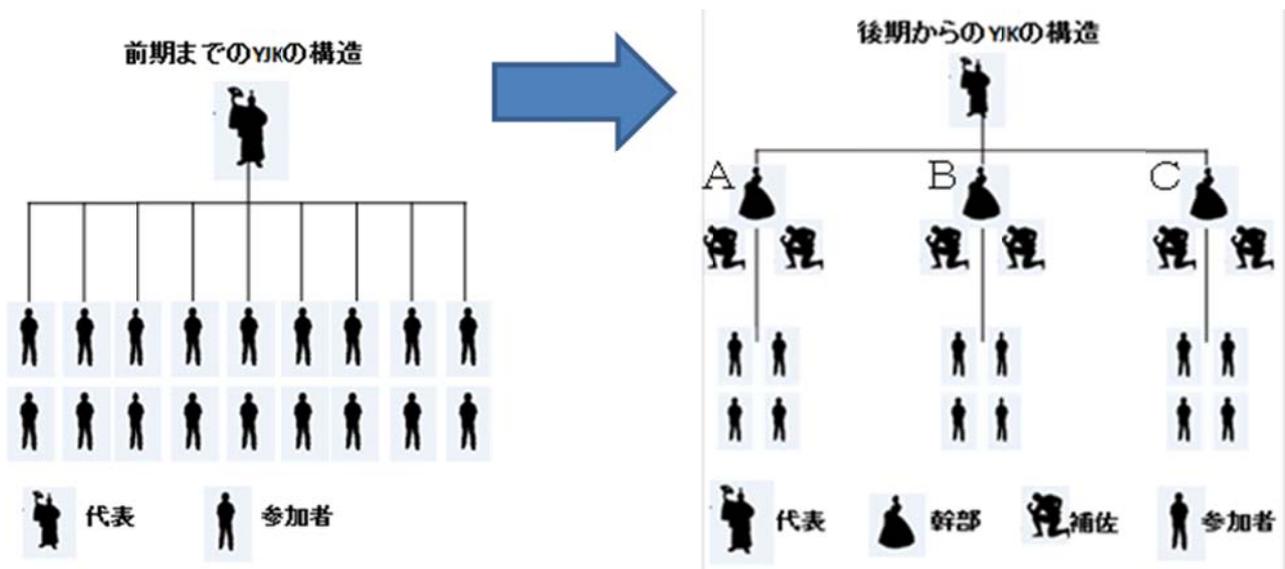


図 1 YJK 団体構造改革

図 1 のように部署やグループの核つくり，わかりやすく，活動しやすく，自発的に発生した企画部署が成長しやすくなるように，そして誰が企画者になっても大丈夫なようにマニュアルを作成した。

マニュアルは 8 月中に完成したため 9 月の全体説明で共通理解を図り，後期からの組織化に向けてそして YJK の特徴の流動的なスタイル確立のために後期から再度動きなおす。

当プロジェクトの国際交流イベントに参加するだけでも楽しいが，メンバーたちにはイベントを企画するという一味違った楽しさも体験してほしい。ここでの経験は大学生活の思い出になるとともに自身の社会人基礎力，スキルアップ向上に役立つはずだ。

## 5. 後期総括

後期から本格的な組織化を行って図2のように企画者に変化が見られた。

図2は、当プロジェクト当初の目標である『流動的なスタイル』が達成されたことを示している。

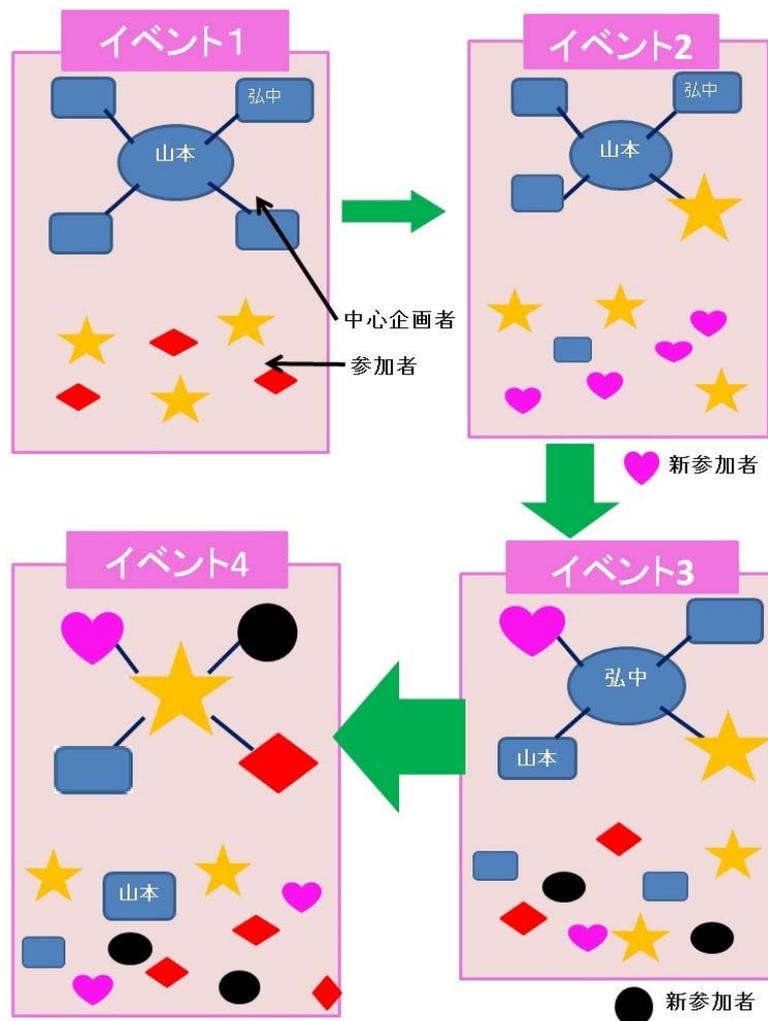


図2 企画者の変化

後期からの団体構造改革やマニュアル化が功を制し、代表者山本や初期メンバーがイベントの中心企画者であったが、イベントを重ねるごとに新参加者が企画メンバーに加わる流れが確立していき、最終的には企画メンバーは初期メンバー以外の新参加者のみで運営されるまでになった。

これによりメンバーたちの自由な発想が形になりやすくなり、月1!!Global☆、国際交流サークルYJKは盛り上がりを増していった。

また、企画者や参加者に関わらずプライベートレベルでの交流が増えたことが大きな収穫であった。メンバー全体を通して、留学生たちと食事に行ったり、他大学の人とも触れ合う機会が増えたりしたことで当プロジェクトをきっかけとして学生たちののびのびとした自由な学生生活をサポートできたことに嬉しく思っている。

出会うことのなかった人たちが当プロジェクトをきっかけとして出会い、交流し、刺激しあうことでまた新しい何かが生み出し、私たちのまわりがもっともっと盛り上がっていけばと考えている。

1年間を通して累計479人の参加があった。多くの人たちのご理解とご協力に感謝している。

高校生、社会人の人も参加や参加希望連絡があったが、現在までの参加者はほぼ大学生中心であった。今後はさまざまな年齢の人が参加できる団体を目指し活動していく。

来年度からは大学生以外の人たちも私たちとともにのびのび国際交流できる環境を作っていくことを視野に入れ活動していく予定である。

おもしろプロジェクトのおかげで私たちの活動が充実しました。どうもありがとうございました。